

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月27日更新

事務事業名		防災士育成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	木永和博
	施策	15	防災対策の推進			所属課	交通防災課	担当者名	高来登
	施策の柱	48	災害予防対策			所属班	交通防災班	(内線)	1244
予算科目	会計一般	款9	項1	目4	事業連番11717	根拠法令	成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 29 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域における防災力の向上の担い手となる人材を育成することにより、災害に強いまちづくりを推進するため、防災士養成講座を開催し、防災士の育成を推進する。
【業務の流れ】	防災士養成に伴う要請講座の開催
【主な予算費目】	・職員手当等 ・報償費 ・需用費 ・役務費 ・負担金補助及び交付金
【意見や要望】	熊本地震に伴い、議会より防災士育成の重要性について意見が上がっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	・防災士資格講習会の共同開催。 ・防災士資格取得に係る関係費の補助。	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: 防災士養成講座開催数	予算の主な増減の理由 ・防災士資格講習会の共同開催に伴う費用の増。 ・防災士資格取得参加者増に係る関係費の増。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	・市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア: 人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・防災士の認証登録を行なう	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 人 ア: 防災士認証登録者数
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込	
① 活動指標	ア	回		1	1	1	1	1	1	1	
② 対象指標	ア	人		0	60,900	61,652	61,500	62,000	62,500	63,000	
③ 成果指標	ア	人		27	80	55	130	140	150	160	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円				118				
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円		120	898	405	847	900	900	900
		(A) 事業費計	千円		120	898	523	847	900	900	900
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人		1	0	3	0	0	0	0
人件費	延べ業務時間	時間		150	0	450	0	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円		0	0	1,780	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		120	898	2,303	847	900	900	900	

事務事業名	防災士育成事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 菊池市・菊陽町と合同で防災士養成講座を開催した。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 菊陽町を会場とし、3市町合同の養成講座を予定しており達成の見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事業周知を図りより多くの参加者を募ることで防災意識の向上を図ることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 防災士への支援は本事業のみである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 自治体主催で開催し最低限の経費で行っており削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 防災士養成のための事務であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公募により参加者募集を行っており公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 防災士養成は市が主体に取り組む必要がある。

3 評価結果の総括 (CHECK)

防災士の養成等計画どおり実施することができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 平成28年度より防災士養成講座を行い、2年間で55名の防災士が誕生した。今後も防災士育成を継続し災害に強いまちづくりを推進する。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上		○																		
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					